



ひつひつだより

No.8 2014.10.31

新しいび、びハウス、キッチン・トイレ棟の工事が始まり1ヶ月が経ちます。び、びの赤いホストの近くに、今回の工事に使用する看板が立っています。これで何になりましたか？通常は無味乾燥なものですが、この看板はちょっと違います。枝で囲われ、ぐるりが沢山飾られています。卒園児の乗組ぐ人が、び、びの下ために飾り付けをしてくれたそうです。

工事が始まる前に、軽井沢産業社長の土屋久（乗組ぐ人のお父さん）と工事中のフェンスについて相談しました。安全性を考えれば、しかし、(た)フェンスで全体を囲ったほうがいい。でもどうして(ま)と工事がこんなふうに行なわれているか、子でも運んで、あちこち見えて、どうして。。。建物が建つ様子を毎日のように見られるのは滅多にない機会。きて、び、びの子でも運んで大丈夫！というところで、現在のようだ虎口-7で、簡単に、困ったけれども、見ました。大きな重機を周囲で見るのは迫力満点。「すがーなー」「かこいいね！」と虎口-7の前で立と見くし、じーと見て、こもじはしまじは。キッチン・トイレ棟の大工工事もスタートし、少しずつ建物の形も見えてきます。11月中旬にはキッチン・トイレ棟が見えようになり、年内にはび、びハウスも完成する予定です。

建物工事が進むのと、同時に、同時進行するかのように、保護者のみなさんでバザーを開催してくれた。本当にありがとうございます。お忙い中、たくさんの時間と割りて企画・準備してくれたこと、心より感謝しています。卒園児の保護者のみなさんや、保護者の方の両親までも協力してくれた、たとのことごと、び、びが豊かなつながりの中で育まれて、改めて実感しました。参加して、スタッフから、たまやかで、和やかなかつたなびーたーと聞きました。多彩な特技を持ったみなさんが、エネルギーをぐるぐる寄せ合ったことか、心地よい空間、時間でつくったのを感じたと想像しています。準備も大切で、また、「わからあい」の時だから、のではないでしょうか。

5月から始まつた「森づくり」も11月9日が今年度の最後になります。子でも運の身体にちようじい、見合の長椅子、荷物を置くに重宝しているハーレット、使う勝手のいい物置、ぐんぐんにならんたつと夢かくらむ森の海賊船。。。木と木を見事に倒し、それを切り株椅子にして、たつたり、子でも運が快適にあそびよう、草や木を処理していくつたり、たくさんの魔杖を手配していくつたり、本当に沢山のうが、力を貸してくださりました。ありがとうございます。最後は、雪が降ても大丈夫なように荷物置き場を完成させます。ぜひご協力ください。

最近、つくづく多くのあかねで現在のび、びになり立っている人、ということを強く感じています。そんなび、びに、9月には継続の、10月には新入園の中に入りました。来年度は新入園児11名、継続児25名の合計36名の子でも運が、び、びの森で暮らします。こ、家族、スタッフも含め子100名を超えるあかねあかね家族。そんなび、びで、自分を活動可仕事が存分にできるここへ、本当にようこひして、今日は今日の頃です....。

慎之介

おおきいくみだより

二学期に入り、びも体もぐんぐん大きくなっている人たち。ひとつひとつのがくらしを、びから樂しみ、木安やび配も乗り越えて、一步ずつ着実におおきくなっています。子どものやりとりを見守る中で、どんな声かけが、必要だったのか、声をかけて良かったのか。。。と日々反省と自分へ聞いています。

今年のほろび、びの夏のキャンプでのエピソードです。

1年生の男の子が、朝食のパンを地面に落としてしまいました。そしてその男の子は、パンを洗い始めました。大人には想像のつく結果がありました、「パンは洗って食べるもののじゃないんだ。」ということをその男の子は経験しました。私はその一連の話をあとで聞いて、ハッとしてました。私だったら、「パンは洗わないは、洗えないよ。」と言ってしまうに違いない。。。と思ったのでした。その後、おやつにスイカ割りをしました。パンを洗った男の子が、今度はスイカを落としてしまいました。私はその場において、男の子に、「これは洗ってもいい？」と聞かれたので、「それは大丈夫だよ。」と答えてしました。すると近くにいた高学年の女の子たちが、「味は薄くなるけどねえへ」とつぶやいています。女の子たちは、きっとどこかでスイカを洗う経験をしたのでしょうか。味が薄くならなくて、経験したから、思っているのです。

「それは大丈夫だよ。」の声かけも、いらなかつたのではないか。。。そう考えてしまいました。今、この時しか、出来ない経験が、たくさんある中で、言葉かけの多さで、子どもは自ら学ぶ機会を無くしてしまうのではないか。。。とても小さなことで、Tに私が、私には、そう感じたのでした。

おおきいくみのある時、大勢で戦いごっこをして遊んでいて、突然、大王は声で泣きだしてTに人がいました。周りの人は、「(泣かせたのは)オレじゃない」「おれは違う」という中で、一人たたずむ男の子がいます。その男の子と一緒に泣いている人の、トラブルだとは思っていませんか。周りの人たちは、その態度に不快な気持ちになり、思わず声をかけてしまいました。すると、ひとりのTが、「話しかけようか！」と言いました。みんなは、「何を話しかくうの？」という雰囲気。ただ泣いてる人に、「だいじょうぶ？」、「どこかいたいの？」と寄り添ってほしかっただけだよ。。。話しかけようか、私は、「何で知らん限り？」に答えただけのことでした。結果、戦いごっこをしていて、後ろから押した！というのが理由でした。

声をかけてしまったことで、解決の糸口が見つからなくなってしまったことがあります。戦いごっこやヒーローごっこで、想像をふくらませて、なりきって樂んでいる男の子たち。100人くらい持っていた棒が、当たった。。ぶつかりて倒れた。。。泣いた。。。それは戦いごっこをしているのだから仕方がないのです。

これから、いいよい友だちと泣いたり、怒ったたり、泣かせちゃつたり、怒られたりする、隣わりの中にひとつとして、無駄なことはなく、小さな積み重ねが、おおきな力になつていくのだと思いました。

大きなケガをしていないか確認したら、少しの人にまかせてみてもよかつたのではないか。。。自分の声かけの在り方を考える機会でもありました。

：美穂

お知らせ

このあたりが出来る時には、ひびひ わかあんの会のバザーが終了していました。皆で忙しく準備して下さい。きっとたくさんのご苦労やお疲れがありましたが、声をかけようと「樂しかった」と笑顔が答えて下さい。感謝の気持ちをいっぱい下さい。本当にありがとうございました。

- おにぎり・お弁当と薪ストーブを温め始めます。11/10(月)~です。オイルを包む太いマジックで記名をお願ひします。木材備え、建材が不足しています。ご協力いただけます方はよろしくお願ひします。
- 冬到来も間近と聞いて、まだ長い時間過ぎるのは、想像以上に冷えます。トクレに行く回数も増えています。着ているものは暖かいパンツや重ね着、そしてお着替えバッグにて、寒さ装備をお願ひします。
- 10/31に脱穀が終り、いよいよ新米を貯蔵する時となりました。西村の防護とご一緒に収穫感謝の一日を過ぎたないと想います。割りこぼれ後日川糸を配布いたしましたが、日々は17日の週にて予定です。
- 伊那市にあるNPO法人「山の遊び舎」はらべこの保護者が今年も学び一貫して7日(金)ひびひに見学に来られました。
- 11月の最終日は9日(日)です。ご協力をよろしくお願ひします。準備が完了の後、参加人数をお知らせいただけますと助かります。
- おおまかに11月の予定
10日(月) 27日(木)
ライジング日 17日(月)
お料理日 27日(木)
- 11月のえりんこ大川筋日は 26日(水)
- 近く モンベル商品を3割引き購入できるとご案内します。

個人面談のお知らせ

今年度も半年が経ち、ひと人の子供達の大きな成長を感じます。確認や理解を深めるために、個人面談を行います。お時間に不都合がある場合は、折り返しと交換していただけます。お旨をスタッフまでお知らせ下さい。お障害時からお見ていただきの2時の出来事は、おじりでなくて大丈夫です。面談時間に干渉したら、直接面談場所へおいで下さい。

面談場所 バイカル「希望」ハウス

敬承略

| | 11/10(月) | 11/11(火) | 11/12(水) | 11/13(木) | 11/14(金) |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2:15 | | | | | |
| 2:45 | | | | | |
| 3:15 | | | | | |
| 3:45 | | | | | |
| 3:15 | | | | | |
| 3:45 | | | | | |

- 11月21日(金) 西村佳哲さんがひびひの保護を見学にいらっしゃいます。西村さんは「自分の仕事をつくる」など、多数の著書があり、デザイン・プロジェクトの企画立案と一緒に(→)、ディレクションを含むアソリテーター役を担うなどされています。
- 今後、スタッフや保護者の方向けのワークショップの立案も検討しておこなっています。

田畠たより

朝晩冷えてきましたね。今年は鬼のものが早く霜が降り、オーバンズツギーニや、カラリの葉っぱが、3月や4月にまだついていました。麦の種まきをしていふと、カエルたちは早く土に潜り、冬への準備を始めています。

たんぽのはせかげました。お米は、丁寧に乾かしてきました。はせかげして3度も台風に見舞われたのは初めてです。最初の台風でははせかげ一本倒れ、稻が下に倒れたときに浸かってしまいました。その後の台風でもかたまり雨に濡れて、本来なら2~3週間で脱穀をするのですが、一ヶ月近く干すことにありました。はせかげで逆さに吊るされたお米には、茎の部分のうすめや甘さがじんわり下りてきます。お日さまの光に照らされ、稻わらをざわるとほんのりと温かくいいにあい。ゆっくりとお日さまを浴びてきっとお米は少しすうまいしくなっています。

今週末に予定している脱穀では、足踏み脱穀機という、昔の農家で使っていた、古い農機具を使い、稻わらからお米を外す作業をします。脱穀のあとには粉あります。それを一粒の外側に付いている壳をとる作業をして、やっと食べられる状態のお米になります。

ひょうひょうでひがひがの新米を食べられる日もうすぐですね！

： 美和子

ひょうひょうの森の動物たち あしあとたずへれた？

かたこそ、こそこそ… 足元にふんわりと落ち葉の季節。森を歩くといろんたる葉、木の音が聞こえます。さて、今月の動物の足跡は？書き忘れ？と思われたかにもいたの？（たぬいて）

実はその動物、生後2日にしてさかやけにふらさがることができます。木の枝を自由自在にしゃくので、地面におりることはほとんどありません。またねえ、リネズミ、モリねずみといはれ、1月～5月の7ヶ月もの間冬眠してしまって雪の上の足跡をみつけることも難しいのです。という訳で足跡がたなびいたのです。

では、その動物と何がどう。それは、天然記念物でもある「ヤマネ」です。ヤマネは冬眠の人方がとても変わっていて、穴を掘るのもなく、食糧をためることもなく、森のそのあたり（落ち葉の下や木のうろたなど）に転がってころん。と眠ってしまうのです。たぬいて、日暮っている時は、まるで氷のように凍たなく、体温と体温は10°Cほど、呼吸も30分に1回！（エ、とみると死んでいるように見えるかもしねません。）それで、無下向く（？）落ち葉の下に眠ってしまってどうか。この方法で氷河期の日暮から生き抜いてきたのですから、ヤマネにとって、良い方法たぬいてね。

落ち葉の上を歩いていたら、ころん!!と王ん丸に眠っているヤマネに出会うかも!? しねませんよ。

： 萩川恵

